



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.2.13 No. 3159

1000日 積りに積つた怒り 今更ぐ俺達を原職にもどせ

あと一ヶ月で時限立法が切れる。われわれ清算事業団十二名と家族は、「緊張」のおももちで毎日を送っている。

不安がないといったらウソになる。しかし、三年間11-10-00日をこえる日々、積りに積つた怒り、憤りは、不安をこえて本当に腹の底から政府・国鉄当局・JR総連革マルへの怒りがわいてくる。

なぜ、俺たちが解雇されねばならなかったのか、その理由すら今だ一度も聞いていないのである。

このままでは絶対に引きさがれない。われわれは自分の闘いとして二・三月決戦を位置づけ、その先頭で闘う決意である。

清算事業団十二名は、JR本隊の仲間がついに乗務員を先頭にして全組合員の本格的ストに二度もたちあがり、それを見事やりぬいたことに熱い感動を感じたし、動労千葉の組合員であることに限りなく誇りを感じる。

清算事業団支部
このままでは
一歩も引き下れない
●第二回支部定期大会を開催



清算事業団支部定期大会

それだが、そうした気持ちをもち寄って、第二回定期大会を、一月二十日、開催し、結束を固めた。林支部長のあいさつ、中野委員論を行い、二・三月決戦にむけて意志一致を図った。

われわれに今や多言は必要ない。腹を固め仲間を信じ、あくまでも原地・原職奪還を求めつづけるのみである。

共に闘いぬこう。

(政府)総会で、当局・JR総連革マル連合を維持しようとする者を社長に選出しなければならぬ。その為には、全ての人々を敵にまわしても自民党に忠誠を誓い、少しでも点数をかせがなければならぬというものである。

われわれは、この腐敗しきった反労働者集団を絶対に許さない。

当局は、千葉転革マル・永島が衆人環視の中で職場

放棄し暴れまわっても何一つとがめせず擁護している。しかるに、浜野支部長に対しては「添乗拒否」なるデタラメな理由で処分と強制配転を加えてきた。このような不当、不正義をどうして黙過できるだろうか。

全組合員は、積年の怒りを解き放ち、JR総連解体・一掃を徹底的におしすめようではないか。

全労働者・人民の敵JR総連解体・一掃!

総選挙
自民党
JR総連の危機
で
を支持

動労千葉は、総選挙闘争を反動自民党政権打倒の闘いとして、推薦候補全員の当選をめざし奮闘している。ところがJR総連革マルは、「連合」の「自民党過半数割れ」の方針すら守らず、こともあろうに十三名の自民党候補を推薦した。

その中には、現職の農水大臣・鹿野、党三役の三塚、千葉では林大幹と極反動の議員が勢揃いしている。

JR総連革マルは、自らあえて全ゆる労働者・人民を敵にまわしたのだ。このなりふりかまわぬ自民党支持の中に、落ちるところまで落ちた革マルの重大な危機とあがきを見てとることが出来る。

彼らは、支持の理由として「年金問題でお世話になった?」としているが、その腹の内はミエミエである。ようするに六月の株主